

C : 審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A:自己評価シート」、「B:相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	応急手当の普及・啓発事業		
事業開始年度	平成24年～	提案型	<input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	ひらつか応急手当協力会	担当課名	消防救急課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など

- ・ 予定より非常に多くの講習会が実施され、参加者も多く成功事例の1つとして見て良いと思います。また、他事業の参考となると思います。
- ・ 団体単独での活動では限界がある（財政面、広報面等）が、協働によって団体の持つスキルを大いに発揮できたと思います。
- ・ 少ない会員でこれだけの講習をこなすのは大変だと思うが会員の積極的な活動は評価します。
- ・ 156回の講習会の実施と述692人の参加人数は凄い。協力会・担当課相互の協力努力は相当のものであったらと思います。
- ・ 活動の中で協力会の会員の増加がみられたことは素晴らしいです。
- ・ 命を守る為、本事業は非常に有効であると感じます。参加人数が当初予測を大きく上回ったことでも、今後も市民が必要とする事業であると推察しますので、是非継続していただきたいです。

(2) 課題の改善や今後への助言など

※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど

- ・ 「やらされ感」がでてこないように注意してほしいです。
- ・ 活動が継続していけるよう団体の組織強化が急務。同じような活動をしている他市の団体などと連携するなど、活動の規模を縮小しないよう努力してほしいです。
- ・ 自主財源確保のためには講習会の有料化や会費徴収、イベントなどの努力は避けられません。行政の下請けにとどまらないよう進歩してほしいです。
- ・ 団体の参加人数が当初計画を大幅に超え、報償費が持ち出しになったとあるが、今年度この点を注意して活動して欲しいです。
- ・ 行政提案であるが、団体の自主性、自立性は活かされたでしょうか？活動を継続していくためには単なる協力者にとどまらず、自立した組織運営を心掛けて欲しいです。
- ・ 講習会受講者3人に2人の割合で協会のメンバーが対応している。より多くの会員の参加が望まれるが講師の人数のルール化を検討した方が良いと思います。
- ・ 成果はあるが、今後団体が自主財源で可能な事業なのかどうか検討してほしいです。
- ・ 講習会を受講した方が、一度の受講で終わるのではなく、そのノウハウを維持向上させるための工夫も必要ではないでしょうか。（団体、行政ともに考える必要がある。）
- ・ 24年度の参加者が大幅に上回った為、報償費をひらつか応急手当協力会の持ち出しになったことは事業量の見積もりが甘かった為だと思います。必要な事業であるので、今後も増えるであろう参加者の予測をしっかりと立て、予算を計上して頂きたいと思います。

評価の流れ A:「自己」評価シート → B:「相互」評価シート →

C : 審査会の意見

C : 審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A:自己評価シート」、「B:相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	朗読による平和推進事業		
事業開始年度	平成24年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	朗読「糸の会」	担当課名	教育指導課（旧指導室）

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・とても充実した事業が行われたと思います。学校教育の一環として行うには協働事業で取り組めたことが有効であったと思います。また、団体、担当課双方の評価も高く、良く協議をしながらすすめられたことがわかりました。
 - ・行政単独でも、団体単独でも実施できない事業なので協働の意義があったと思います。
 - ・平塚の文化レベルの高さを示すすぐれた事業である。自信を持ってほしいです。
 - ・学校で先生から授業として戦争や平和の話聞くよりも先生以外の人から話を聞くことは、新鮮なことであつたろうと思います。またハープやシンセサイザーを活用したことにより、その効果も上がったようである。学校教育に上手に外部の力を入れることは大変有意義であると思います。
 - ・命の尊さ、平和の大切さを伝えていくためには小学生の頃から訴えかけることが重要だと思います。その点はとても良い活動をしてもらえたと思います。
 - ・協働事業により実施団体が学校で公演を行う機会が出来たことは大きな成果だと思います。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・一年で終了とのことだが、せっかくできた学校とのネットワークを今後も活かしながら平和の大切さを伝えていってください。
 - ・依頼があれば・・・という受け身の姿勢でなく、積極的に活動範囲を増やして欲しいです。
 - ・とても良い内容なので資金不足で継続不可ということがないように努力してほしいです。
 - ・ハープやシンセサイザーの伴奏等工夫がみられるが、一方「言葉」の力、朗読の意味をもう一度見つめ直してください。
 - ・平和推進事業に限らず、「糸の会」のような外部の方による朗読が学校教育の一部に入れ込めないでしょうか。心静かに話を聞くことは生徒にも日常とは違う気づきが生まれると思います。
 - ・平和という重要なテーマは広く市民に訴えなくてはならない。しかし行政でできることは限界がある。その点このように様々な市民活動団体が関わることが平和意識の普及に貢献する。また、音楽を使つての効果は高いと考えるが、自分たちのオーディオ機器や朗読単独での実施等お金を使わずに実施する方法検討したらいかがでしょうか。
 - ・協働事業として終了する理由は解決できないのでしょうか。協働事業としていることの効果（学校での実施など）を失うのは残念です。
 - ・是非今後も学校での公演を続けて頂きたいと思います。

評価の流れ A:「自己」評価シート → B:「相互」評価シート →

C: 審査会の意見

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	「デジカメとパソコンでできる！地域貢献」講座		
事業開始年度	平成24年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	NPO法人 ひらつかITサポート	担当課名	中央公民館

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など

- ・ニーズの高い事業であり、成果があがったことを素直に評価します。
- ・最近ニーズの高いIT講座は団体独自でも可能だと思うが、「公民館利用」「地域貢献」と結びつけたところが新しいと思います。
- ・各地域のパソコンサークルとの結びつきを強化したのも評価できます。
- ・活動状況が団体のブログで発信されており楽しそうに講習を受ける市民の様子を拝見しました。
- ・講座開催において双方でよく協議され改善しながら行ってきた点は良かったと思います。
- ・団体及び公民館が双方の持つ目的を協働事業により達成できたことは評価できます。
- ・地区公民館を会場として4回とも全て抽選であり、費用も安く良かったと思います。
- ・「興味はあるけど、ちょっと難しそうだな」と思っている人に、一歩踏み出すきっかけづくりを公民館という地域に身近な場所で展開されたのは良かったです。

(2) 課題の改善や今後への助言など

※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど

- ・今回は中央公民館が行政の窓口だったが、今後地区公民館へ拡がり、より参加しやすく地域のニーズに添った展開がされることを期待します。
- ・各地区公民館や地区ブロックへの提案で力が分散されより質の高い講座が実施できるのか良く注意してほしいです。
- ・WEBを使うことのリスク（ウイルス、ワンクリック詐欺、個人情報等）についての講座もあればいいと思うので今後の提案に期待します。
- ・広報に関する分野が多くなってしまいが、「パソコンと事務管理」など新しい分野にも挑戦してほしいです。
- ・協働事業提案ではなく公民館委託事業になるのでしょうか。いずれにしても受講者が学んだことを地域活動に活かし、それが成果となった表れることを期待します。
- ・参加者の今後の地域活動につながる講座になることを目的とした講座であることは理解できますが、講座の内容から考えて、今後参加者の受益者負担を多くしてもいいのではないかと思います。
- ・協働事業として実施すると事務手続きが多く煩雑なことに起因して協働事業をやめるのは残念です。
- ・今後講座を卒業した人が地域に関わり、又教える立場の人材になるよう検討してほしいです。
- ・講座が「安価なパソコン教室」に止まることなく、市民活動団体ならではの活動とはどんなものか検討していただきたいです。

評価の流れ A：「自己」評価シート → B：「相互」評価シート →

C：審査会の意見

C : 審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A:自己評価シート」、「B:相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	高麗山公園ハイキングコース等植生調査事業		
事業開始年度	平成24年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	湘南の森	担当課名	みどり公園・水辺課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・とても素晴らしい報告書だと思います。団体の方々の地道な調査と森を愛する心が伝わってきました。担当課との意見交換で事業の見直しを図り、共通認識で進められたことも良かったと思います。
 - ・カラー写真が多用され非常に素晴らしい報告書で、行政施策への提言も良かったです。
 - ・団体のしたいことと行政のしたいことの調整がされ事業が実施されたのは素晴らしいです。
 - ・客観的データや事業に裏付けられた情報をもとに、いくつかの提案に結びつけられたのが良かったと思います。
 - ・専門的な有益な提案を頂いたと思います。今後は具体的に動き出すには、ハードルがあると思うが、報告書が無駄にならないようにしていただきたいです。
 - ・貴重な調査データが得られたものと思う。引き続き任意の協働事業として展開されることに大きな期待をしています。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・調査を含む森の保全活動は大変意義のある活動ですが膨大な経費もかかります。活動を継続させるためにも他の助成金制度を利用することをすすめます。また、NPO法人格を取得すると利用の幅も広がるので、是非検討してください。
 - ・現時点では費用対効果の高い事業と高い評価になるが、継続的に事業を行ううちに安い下請けにならないようにしっかり行政と団体と話し合いを持ってください。
 - ・自主財源の確保に動き出していることは評価できます。準備期間は長い方が良いです。
 - ・一度事業として始めると途中でやめることは出来ません。持続可能な体制、民間基金の応募等運営の方向付けを良く考えて欲しいです。
 - ・提言は行政も団体も言いつばなしにしないで継続的にフォローしてほしいです。
 - ・提案内容についてどのようにしたら実現できるか団体、行政それぞれの立場で協議検討されることを望みます。
 - ・報告書の提案内容を基に今後も協働事業として展開できると考えます。互いの長所を活かし、連携を密にして進めていただきたいと思います。

評価の流れ A:「自己」評価シート → B:「相互」評価シート →

C: 審査会の意見

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	みんなでつくる花いっぱい街づくり事業		
事業開始年度	平成24年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	明日の金田を創る会	担当課名	農水産課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・目に見える成果が出ており、かつ毎回20～30名程度のボランティアが活動に参加するなど有意義な活動だと思います。
 - ・4カ年の事業展開で様々なノウハウを持った地域住民の力を活かすことができた活動になり、協働事業が終了することは残念です。
 - ・団体と行政が互いの力を活かした事業であったと評価します。
 - ・協働事業として素晴らしい。今後行政の関連機関と協力できる場所は連携して金田から他地域へ活動の輪を広げてもらいたいです。
 - ・花というものを媒介にして金田地区の街づくりが着実に歩を進めているように感じられました。
 - ・官が作った「ひらつか花アグリ」を民が育てているすばらしい例であり、また、ざる菊など新たな名所づくりや自主財源確保のための動きなど活動に創意工夫がされていると思います。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・若年層を取り込んだ中で会の活動を持続していくことがなにより大切。自主財源の確保を考えて欲しいです。
 - ・協働事業から育った市民活動の成功例として継続していくことを期待します。
 - ・NPO法人になって、指定NPO法人を目指す時、平塚市の推薦があれば認定されやすいと思います。そのプロセスに乗るためこれからも連携していくことを期待しています。
 - ・自主財源の確保や組織力を高めるうえで、NPO法人化を検討してはどうか。寄附も集めやすくなると思います。
 - ・金田のちいき情報局はまだ開設されていないようですが、この地域の特色をPRすることも賛同者を増やす要因となるように思います。
 - ・今後も団体と行政が連携できる活動内容もあると推察しますので、是非模索していただきたい。
 - ・NPO法人化に向けて頑張ってください。
 - ・協働推進課が進める協働事業手法以外の協働をさらに進めていただきたい。アダプト等も視野に入れて活動されることを期待します。
 - ・市内にも桜やあじさいなどをテーマに地域づくりをしているところもあるので他の団体との交流などで、新たな発見なども生まれるのではないのでしょうか。

評価の流れ A：「自己」評価シート → B：「相互」評価シート →

C：審査会の意見

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	市民活動団体間の連携強化と活動拠点の機能強化		
事業開始年度	平成23年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	ひらつか市民活動連絡協議会	担当課名	協働推進課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・平塚の市民活動のパワーを市民に広く知らせる結果になったと思います。
 - ・団体と担当課の評価の差が気になりますが、団体側がより高いステージに目標を設定していたためと思われました。
 - ・協働事業の情報発信としても一定の成果があったと思います。
 - ・団体の連携を後押しするという点が大きな意義があると思います。部会活動という点が分かりやすいです。
 - ・定期的に「協働のひろば」を発行していることと、市民活動フォーラムの開催等力を付けていると思います。
 - ・市民活動推進の為に非常に有効的な事業であると評価します。各市民活動団体は互いの連携が出来にくい現状もありますので、協働事業としては終了しますが、今後の事業展開に期待します。
 - ・団体側から協働事業としてこの2つのテーマに取り組みされた意義は大きいです。
 - ・今後、5部会と行政関連部署とで進められるところは、進めてほしいです。
 - ・市民活動団体が「仲間の集まり」から「まちづくりの集団」に変わっていくためにも、団体相互間の交流は欠かすことができないものだと思います。そして、目的を同じくする団体をつなぎ、かつ立派な成果品等が生み出されています。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・今年度は休止だが2年間でやり遂げられなかった活動拠点の機能強化について検討して欲しいです。
 - ・今後も中間支援コーディネーターとして他の自治体の取り組みなどを研究しより効果的な方法で市民活動を推進して行ってください。
 - ・マンパワー不足は団体の共通の悩みなので部会の発展に期待したいです。
 - ・分野別部会が各々力を付けて行って欲しいです。
 - ・今後、市民活動団体のスキルアップなどのサポートを含め、さらなる中間支援ができる組織として活動を進めていただきたいと思います。
 - ・市民活動センター運営の担い手になれるよう期待しています。
 - ・誰が、どのように団体間の連携や情報交換、外部への情報発信などを継続していくのかは、大きな問題であり、一つの正解は無いように思う。あまりきっちりした組織に拘らず、ゆるい（柔軟性のある）ルールが見つけられると良いと思います。

評価の流れ A：「自己」評価シート → B：「相互」評価シート →

C：審査会の意見

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	小学生向け財政パンフレットの作成		
事業開始年度	平成23年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	ひらつか自治体財政研究会	担当課名	財政課 教育指導課（旧指導室）

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など

- ・各々の評価は正しいと思う。よほど行政のバックアップがないとこの問題での事業展開は難しいと思います。特に費用対効果の問題はなおさらである。市民として提案し続けてください。
- ・昨年と比べてパンフレットもわかりやすくなったし、アンケートの回収率もあがったり内容がレベルアップしたと感じました。
- ・23年度の課題を克服されよりわかりやすいパンフレットが出来たと思います。
- ・アンケートの回収率も上がり学校側の評価も良好で一定の成果が得られたと思います。
- ・小学生向けの分かりやすい内容の財政パンフレットの作成は有意義だと考えます。
- ・自治体の財政運営に関心のある団体が、行政と協働することで小学生（先生）に市の財政という取っ付きにくいテーマに市民目線を入れたパンフレットを作ろうとしたのは興味深いです。
- ・小学生でもわかりやすいような表現やグラフなど工夫がされていてさらに見やすくなっていると思います。

(2) 課題の改善や今後への助言など

※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど

- ・平塚市は他の市町村より確かに豊かであった。しかし今後は急速に財政状態は悪化する。そのことをもっと市民も知る必要があるし、又知らせる必要がある。今後の具体的な展開として「財政勉強会を開くなど、市民に知ってもらえる機会を検討する」とのことで今後の展開に期待します。
- ・年々バージョンアップして継続して欲しいです。
- ・パブリックコメントについてのアピールを充実させていただきたいです。
- ・パンフレットの活用について、配布しただけでなくこれをどのように使いこなすか（学校側、児童、及び団体）に期待します。出前授業を検討してはいかがでしょうか。
- ・アンケートでは、授業で活用できなかったとの報告が6件あったという事ですので、内容を更に精査し、活用しやすくしていくことも必要。協働事業としては終了との事ですが今後も小学校では活用されていくであろうと思います。
- ・団体の評価点が低めであり、相互評価シートも全体的にさらっとした記述であるが、報告会でのプレゼンテーションを聞いた範囲では「良く出来た」のではないかと思う。シートの「課題やその改善方法」の欄に思いをもっと記述して欲しかったです。
- ・市の財政を市民に知っていただくことは、非常に重要である。ただ、児童はどのように感じたのか、受け手の児童の感想等があると良いと思います。

評価の流れ A：「自己」評価シート → B：「相互」評価シート →

C：審査会の意見

C : 審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A:自己評価シート」、「B:相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	「地域猫」への取り組み		
事業開始年度	平成23年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	平塚のら猫を減らす会	担当課名	環境政策課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など

- ・各地区での地域猫活動に敬服しました。何度となく地域へ出向き、話し合いを続け理解して協力してもらうまでには大変なご苦労があったと思います。担当課ともよく協議され、共に汗をかく事業としては素晴らしいモデルだと思います。
- ・協働事業のモデルケースとなるべき良い事業だと思います。
- ・良く取り組まれており、のら猫問題を地域コミュニティの問題に展開している所が素晴らしいが、事業の実施内容が各々厳しい点数です。目的・目標を高く掲げ実績に結びつけてください。
- ・のら猫問題だけでなく、地域の様々な問題が浮き彫りにされ解決のきっかけになる事業でもある。団体、自治会、行政が連携し、課題解決に向け協働できた事業だと高く評価します。
- ・地域自治や協働の一つの取組みとしての事例、大変難しい事への対応やその努力に感謝します。
- ・猫を通して人と人のトラブルを減らし、「地域のコミュニティの活性化」と報告書にまとめられ、団体のすばらしさが良くわかりました。10地区の目標が達成できなかったとあるが、地域はそれぞれであり難しい部分があるので、地域の実情で目標値はそれほど重要ではないと思います。
- ・現場に出向き、当事者の話を聞き、地元の状況に合わせてきめ細かく対応し、行政も現場調査等を実施して関連する他部署と連携して問題を解決する。まさに協働事業として成果のあった事業であると思います。

(2) 課題の改善や今後への助言など

※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど

- ・目標には届かなかったということで双方の評価が低めだが、地域の受け入れ態勢にもよると思う。懲りずに続けていってほしいと思います。
- ・地域猫の活動を通して地域コミュニケーションの大切さを一層広めていってください。
- ・地域が拡大できないことが課題との事だが、時間が解決すると思うので拡大より内容の充実を優先する方向性は良いと思います。
- ・10年来の活動のスキルを見つめ直し具体化するとともに、他市町村への展開も考えて下さい。
- ・この問題は潜在化しており、顕在化するとトラブルとなるので表に出てくるのでしょう。
- ・地域住民の理解を進めるために更なる広報も必要だと考えます。今後、活動財源の確保など課題解決の為に、寄付者を増やしていかげんかでしょうか。NPO法人、指定NPO法人の取得を是非検討してください。
- ・今後も行政と連携して是非進めていただきたいです。
- ・のら猫問題も、他の様々な地域課題と同様に各地域の人が自らの問題として動いてもらわないと解決できない。また行政も一部署の努力だけでなく関連部署も加わった体制の検討が必要です。

評価の流れ A:「自己」評価シート → B:「相互」評価シート →

C: 審査会の意見

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	一般家庭での生ごみ自家処理推進事業		
事業開始年度	平成23年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	ごみを活かす会	担当課名	循環型社会推進課 (旧資源循環課)

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・地味だけれど大切な取組を継続している点は素晴らしい。
 - ・市民が参加しやすい講座をするための2つの変更といった柔軟性が協働事業において大切です。
 - ・活動自体は地味なもので、興味のない市民の目を向けさせるには高いハードルがあると思われましたが、講座内容を工夫したり参加者増員を達成できたのは評価できます。
 - ・楽しそうなプレゼンで、活動も良く理解できたし、ワクワクする気持ちが湧いてきました。
 - ・ごみの焼却にかかる環境負荷、処理費用の軽減は大きな課題であるがゆえに、この事業はとても有意義だと思います。
 - ・講座の内容も様々な方法が紹介され、参加者は満足度も高かったと思われます。また、担当課とのコミュニケーションも良好で共に取り組んでいる姿勢が評価できます。
 - ・燃せるごみの減量化、資源化という大きな行政課題について同様の意識と生ゴミ自家処理の経験ノウハウを持つ団体が事業を展開して「相乗効果や波及効果」が高く評価できているのが素晴らしい。目標に生ごみ自家処理実践者20名という具体的数値目標を掲げ、43名という実績に結びつけているのも評価できます。
 - ・自家処理方法のネーミングなど独自性を発揮し、より身近なものとするような試みは非常に良い。
 - ・家庭でのごみ減量は環境問題を考えるうえでも重要。講演、講習の活動を地道に続けておられることに敬服いたしました。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・団体が自立していくには自主財源も重要だが、独自でPR広報できるよう準備を始めて下さい。
 - ・決算報告を見ると事務の効率化等で節約していただいた努力が見えました。
 - ・協働事業の最終年度にあたるので、26年度以降の取り組みについても検討を進めてください。
 - ・自治会との連携や自家菜園、市民農園に取り組んでいる方々とのネットワークを拡げていかれたらいいと思います。
 - ・講習会参加者を増やすため開催曜日を工夫したり、分かりやすい講義を心掛けていることは続けていただきたいと思います。
 - ・市民の方に義務感を求めたり、大きな負担感が感じられると参加、継続していただくことは難しいと思います。生ごみを自家処理することが「楽しい」と思えるような動機付けが出来るといいと思います。
 - ・裾野の広がり、広く市民にという視点で、各地区公民館で開催してはどうでしょうか。
 - ・市民の関心を高めるために広報を充実しもっと活動をアピールしてはどうでしょうか。

評価の流れ A：「自己」評価シート → B：「相互」評価シート →

C：審査会の意見

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	里地里山の保全活動による地域環境再生と共生社会の確立 (グラウンドワークの推進)		
事業開始年度	平成 23 年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	土屋里地里山再生グループ	担当課名	環境政策課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など

- ・年間を通して充実した活動であったと思います。団体担当課双方の評価も高く、またイベントに参加した市民の方々の満足度も高く、大きな成果につながったと思います。
- ・お互いを尊重しながらすすめてこられたことが伝わりました。
- ・ブルーベリー石鹸の販売にとっても期待しています。
- ・商工会議所へ登録している市民活動団体はほとんど無いと思うので、地元事業者との連携が深まることを期待しています。
- ・団体、行政ともオール5であり、素直に評価します。
- ・里山の再生と保全は大変重要な活動です。団体と行政が協働する事で良い成果が出ると改めて感じました。
- ・ブルーベリー苗木の植樹、料理教室、ホテル観賞会など年間を通して多くの市民が里山エリアに触れ合う機会が提供されたうえに、市民もともに植樹したブルーベリーが商品化に繋がり、自主財源確保の可能性が見えたことは頼もしいです。

(2) 課題の改善や今後への助言など

※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど

- ・団体はコミュニティビジネスを視野に活動の幅を広げていることから組織力が高まってきたと感じます。
- ・NPO 法人格の取得を検討していただき、平塚市を代表する組織として成長されることを期待しています。
- ・NPO 法人化を進めてください。
- ・団体の自立への展開（ブルーベリー、桑の実ゼリー等）を急いでほしいです。
- ・企業との協力（水、石鹸）、NPO 法人化、コミュニティビジネス化の展開に期待しています。
- ・是非 NPO 法人、指定 NPO 法人取得に向けた動きを作っていただきたいです。
- ・今後も広がりのある事業展開がありそうなので期待します。また、協働をどの分野で取り組んで行くのかをより明確なテーマ（環境、農業など）を設定していくとより方向性がはっきりすると思います。
- ・各イベントを実施しているが、里山に親しむ平塚市民はどのくらい増えているのかわかると良いのではないのでしょうか。
- ・収入の7割以上が県の補助金であるが、県の補助金が終了した後の事業展開について、すでに検討しているかもしれないが、どのように計画されているのでしょうか。

評価の流れ A：「自己」評価シート → B：「相互」評価シート →

C：審査会の意見

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	地域防災活動者育成研修、防災懇談会及び防災ニュース発行		
事業開始年度	平成 23 年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	ひらつか防災 まちづくりの会	担当課名	災害対策課 (旧防災危機管理課)

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・避難所運営ゲームは、ゲーム感覚でやれるとすれば他地域へ拡大していけると思います。
 - ・100%満足できた内容ではなかったように感じられるが、逆に問題点や課題が見えてきたのは1つの成果だと思えます。
 - ・前年度の課題を克服しながら事業をすすめられたことは評価されるべきと思えます。
 - ・防災研修の参加者も多く、自治会その他地域の方々とのコミュニケーションも良くとられていて素晴らしいと思えました。
 - ・災害時の自助・共助の重要性は論を待たないところであるが、行政が自助・共助を市民に啓発してもなかなか浸透しないところである。市民活動団体が中心となって市民同士の情報交換などを行う方が行政のお仕着せの啓発活動より効果があると思えます。
 - ・行政が押し付けるのではなく、市民活動団体が市民活動として取り組むことが重要であり、それが市民の防災意識の向上につながると考えます。その点、このテーマを取り上げて協働事業を取り組まれたことは良かったと思えます。
 - ・自助・共助・公助のうち自助や共助がより重要であることは東日本大震災で明確になり、研修や訓練を着実に進められたことを評価します。
 - ・自己評価は、団体、行政ともに高くない部分もありましたが、事業自体は必要なものなので、成果があったと思えます。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・対等な立場と言いつつも、団体内の意見調整の遅れ、それが行政判断に委ねられるという場面をどのように克服していくのか、団体内で良く話合って欲しいです。
 - ・行政側の自己評価が低いのは気になった。団体の意見調整が出来ていなかったという指摘もあるので、休止している期間を利用して団体の基盤を固めて欲しいです。
 - ・市民にとって重要な事業であると思うので、レベルアップ、スキルアップして協働事業に再トライしてもらいたいです。
 - ・協働の視点から見ると、団体と担当課との間に隔たりが見えました。お互いの立場を理解し、尊重し、十分に協議する時間がたりなかったのでしょうか。
 - ・平塚市にとっても防災教育は重要な位置を占めているので今後も協力関係を維持してください。
 - ・協働事業は終了してしまうが、今後も団体としての活動の中で得られたノウハウを行政に提案、提言され、防災訓練などに貢献してほしいです。
 - ・今後も是非続けていただきたいです。

評価の流れ A：「自己」評価シート → B：「相互」評価シート →

C：審査会の意見